

目次

はしがき	i
略語表	vii

序章 2002年の東アジア	1
1 対テロ戦争とイラク問題	2
2 北朝鮮の核開発問題の再燃	4
3 中国の台頭とその指導者交代	5

第1部 トピックス

第1章 小泉首相訪朝と核問題再燃	9
1 小泉首相の訪朝	11
（1）平壤宣言	11
（2）首脳会談後の課題	16
2 揺らぐ「枠組み合意」	19
（1）ウラン濃縮計画	19
（2）核疑惑の中の南北朝鮮関係	22
3 外交カードとしての核兵器開発計画	23
4 ブッシュ政権と日米韓の協力	25
（1）米国の方針	25
（2）日米韓の協力	26
5 凍結解除宣言	28

第2章 東南アジアとテロ ——顕在化するテロリスト・ネットワーク	31
1 米国一国主義への懸念	33
（1）米国の対応	33
（2）中国とロシアのジレンマ	35

2 東南アジアと米国——第2のテロの温床か	37
3 バリ島の爆破事件とテロ・ネットワーク	42
（1）後手に回るテロ対策	42
（2）統治能力の欠如と国際協力	45
（3）テロ・ネットワーク	47

第3章 中央ユーラシアの安全保障 ——米国介入のインパクト	53
1 中央ユーラシア安全保障と米国	55
（1）アフガニスタン——移行政権の発足と国際部隊の展開	55
（2）旧ソ連諸国における米国のプレゼンス拡大	59
2 ユーラシアの多国間安全保障とテロリズム対策	63
（1）イスラム復興とテロリズム	63
（2）ユーラシアの多国間主義	68
3 中央アジア諸国内政への影響	71
4 中央ユーラシアの国際関係——課題と展望	72
（1）貧困、イスラム復興、国境管理	72
（2）中央アジア諸国の独自化	74
（3）日本と中央ユーラシア	76

第4章 ABM制限条約の失効と東アジアの戦略環境	79
1 ABM制限条約の成立とその意義	81
2 冷戦の終結とABM制限条約	82
（1）ブッシュ（父）政権とABM制限条約	82
（2）クリントン政権とABM制限条約	83
3 ABM制限条約からの離脱とロシア、中国の反応	85
（1）ABM制限条約からの離脱	85
（2）ロシアの反応	86
（3）中国の反応	88
4 ABM制限条約失効後の米ロ、米中関係と東アジアの戦略環境	89
（1）米ロ関係——戦略的安定の確保	89
（2）米中関係——戦略対話による対立の回避	91

第2部 各国・地域的情勢

第5章 朝鮮半島	93
1 韓国内政・外交	95
（1）盧武鉉候補の当選	95
（2）太陽政策と対外関係	98
（3）盧武鉉新政権の対北・対外政策	101
2 「経済改革」の開始——北朝鮮	104
（1）計画経済下の変化	104
（2）試練に直面する外交	106
3 経済協力路線の定着——南北関係	109
（1）繰り返される対話と停滞	109
（2）鉄道・道路の連結	111
4 軍事情勢	113
（1）積極的な装備増強——韓国	113
（2）韓国の兵器輸出努力	119
（3）北朝鮮の軍事態勢とその影響——非対称軍事能力の強化	122
第6章 中国	125
1 政権交代期の中国	127
（1）江沢民政権の13年間——開放路線の定着	127
（2）胡錦濤新政権——鄧小平・江沢民路線の踏襲	133
（3）WTOへの加盟	135
2 影響力増大を目指す中国外交	137
（1）対テロを軸にした対米協調外交	137
（2）靖国神社参拝問題で停滞した日中関係	139
（3）米国への対抗色が薄まった中ロ関係	141
（4）亡命問題で揺れた南北朝鮮との関係	143
（5）経済統合を目指す対ASEAN外交	144
3 「科技強軍」建設の継続	145
（1）新体制での党軍関係と軍建設の課題	145
（2）軍近代化の推進	147
（3）有能な人材の確保と処遇の改善	150
（4）「新大綱」での軍事訓練	151
（5）外洋をにらんだ海軍	154

4 中台関係	156
（1）「三通」を軸に動き出す中台関係	156
（2）指揮の一元化を果たした台湾軍	159

第7章 東南アジア——新たな結束へ	163
1 自由貿易協定（FTA）をめぐる日中間の駆け引き	165
（1）中国の東アジア自由貿易構想	167
（2）小泉ドクトリン——東アジア拡大コミュニティー構想	169
2 民主化の進展とその障害	172
（1）インドネシア	172
（2）マレーシア	176
（3）ミャンマー	177
3 ASEAN外相会合——ARF強化策を採択	179
4 軍拡競争の幕開けか	182
（1）国防費の推移	182
（2）装備調達拡大の動き	184

第8章 ロシア	187
1 プーチン大統領の統治とロシアの安定	189
（1）国内情勢の安定とプーチン大統領の統治体制の強化	189
（2）対米協力と国内情勢	190
2 対米協力とロシアの東アジア政策	194
（1）米国同時多発テロ後の米ロ協力とその展望	194
（2）米ロ協力と中ロ関係	196
（3）朝鮮半島における経済権益の獲得を目指すロシア	198
（4）打開の見えない対日関係	200
3 対テロ戦争と軍改革	201
（1）アフガニスタン軍事作戦の評価とロシア軍	201
（2）プロフェッショナルな軍への第一歩	204
（3）南方と西方重視の軍事態勢	206

第9章 米国の東アジア安全保障政策 ——米国同時多発テロから1年余	211
1 対テロ戦争態勢の整備	213
（1）安全保障政策の見直し	213
（2）国際協力態勢の進展	219
（3）イラク——「次の目標」	222

2 東アジア安全保障政策の展開	229
(1) 米国同時多発テロ以降の米中関係	229
(2) 北朝鮮に対する厳しい姿勢	232
(3) 対テロ戦争協力と日米関係	236

第10章 日本の防衛政策 239

1 有事法制	241
(1) 武力攻撃事態対処法案の国会提出とその後の経過	241
(2) 武力攻撃事態対処法案の概要	243
2 国家緊急事態への対応——国際テロおよび不審船への対応	246
(1) テロ対策特別措置法とその後	246
(2) 不審船事案とその対応	251
3 自衛隊と国際貢献——PKO参加10周年	254
(1) 東ティモールPKOへの参加	254
(2) PKO参加10年の軌跡	256
(3) 国際平和協力法の成立と変遷	258
(4) 今後のPKO参加と課題	261

解 説

アジア太平洋地域における多国間安全保障協力の展望.....	7
ジェマー・イスラミア（Jemaah Islamiah）	51
アラル海の炭疽菌撤去問題	62
日本の「ユーラシア外交」.....	77
ブッシュ政権、ミサイル防衛の配備決定	88
中国共産党全国代表大会.....	129
チェチェン問題とモスクワの劇場占拠事件.....	191
国土安全保障省.....	215
自衛隊の統合運用に関する検討.....	249

資 料

日朝平壤宣言	13
「枠組み合意」に関する北朝鮮側の主張.....	29
盧武鉉新大統領の対米・対北政策構想.....	100
シンガポール防衛戦略研究所（IDSS）のARF強化策12提案	181
対イラク攻撃に対する米国世論の動向.....	226